

会議要録

| | | |
|--------|--|---|
| 会議名 | 第5回 中神駅北側地区の住居表示実施に向けた町区域の新設に関する市民懇談会 | |
| 日時 | 令和8年4月25日(土) 午後3時から午後4時30分 | |
| 場所 | 市立武蔵野会館実習室(学習室1・1階) | |
| 出席者氏名 | 会員 | (会長)大槻 修久 (副会長)阿部 浩 他12名 |
| | 事務局 | 市民部長 枝吉 敦子、市民課長 藤田 修平 住居表示担当係長 安藤 基也、住居表示担当 清水 廉 |
| 欠席者 | 2名 | |
| 次第及び議題 | 1 会長挨拶 2 報 告 (1) 会員の変更について(資料1) 3 議 題 (1) 町名案について(資料2、資料3) (2) 丁目割り案について(資料2) 4 その他 | |
| 配布資料 | 第5回市民懇談会次第 資料1 中神駅北側地区の住居表示実施に向けた町区域の新設に関する市民懇談会名簿(令和8年4月変更) 資料2 市民懇談会報告書(案) 資料3 各会員からの意見について | |
| 会議の内容 | ■大槻会長挨拶 忙しいなか第5回の市民懇談会に出席していただき御礼申し上げます。本日もよろしくお願ひしたい。 ■出席数及び資料の確認 会員数16名に対して14名の出席いただいた旨事務局より報告した。また、配布資料の確認を事務局より行った。 ■報告(1) 会員の変更について(資料1) 事務局より資料1に基づき、会員の変更について説明した。 (会員A)「会員変更の理由は何か。」 (会員B)「昭島第二住宅自治会は、1年ごとに役員を交代しており、今 | |

年度から私が自治会長になった関係で変更した。」

■議題（１）町名案について（資料２、資料３）

事務局より資料２及び資料３に基づき、報告書案について説明を行った。

【意見・質問及び事務局回答】

（大槻会長）「前回お伝えしたとおり町名案とその選定理由について、各会員からの意見を順番に伺っていきたい。」

（会員Ｃ）「前回の公募結果を見ると中神を含む名称が圧倒的に多く、地域の施設名にも広く使われていることから、歴史・伝統を重視する意見として、「中神新町」を提案する。地域の特徴を活かす意見としては、昭島市のシンボルであるくじらを採用した「くじら町」を提案する。この地域は実際の化石の発見場所ではないという矛盾点が懸念されるが、昭島＝くじらというイメージは市民に広く浸透しており、無視できないと考える。その他の意見として、かつてこの地域一帯が桑畑であった歴史を残したいという自治会員の意見から、「桑園町」を提案する。」

（会員Ｄ）「定例会で意見を集約した結果、心機一転の新町名をつけるより中神に由来した馴染みのある名前を望む声が圧倒的に多かった。また、画数が少なく文字数も少ない読み書きしやすい町名が望ましいといった意見も出た。具体的な町名案は決まらなかったが、町内会の方向性として「中神町」が残ってほしいという意見である。」

（会員Ｅ）「自治会での話し合いの機会がなく個人的な意見となるが、高齢者が多く、この地域に長年住んでいる会員が多いことから、中神を含んだ馴染みのある名前が望ましい。また、高齢者でも書きやすいよう、画数が少なく短い町名が好ましいと考える。」

（会員Ｂ）「自治会全体での集計は行っていないため、個人的な考えに基づいた意見となるが、現在中神町に住んでいることから馴染みのある中神を残したい気持ちがある。一方で、この地域に古くから住んでいる人のお話を伺うと、小学校名と町名が対応している点に着目し、富士見丘小学校に対応する「富士見丘町」のような名称も、歴史・伝統を踏まえた案として考えられるとの意見もあった。」

（会員Ｆ）「役員会では、これといった町名は出ず、できれば町名は変更

しない方が良いという意見と、変更するのであれば中神を含む町名が多いためそれを採用するのが良いのではないかという意見が出た。」

(会員G)「理事会の中で話をし、中神という名称は入れた方が良いと意見があった。また、青梅線の北側には町と付く町名が少ないことから、地域のバランスを考慮し町はつけない方が望ましいといった意見もあり、具体的な町名候補としては「中神北」が挙げられた。「北神町」も候補として挙げられたが、こちらは町がつく形となる。もう一つ、「日和」^{ひより}という案が挙げられた。当該地域の東にはもくせいの杜、西にはつつじが丘、北には武蔵野、南には多摩川があり、花・丘・水の要素が揃っている中で、唯一足りない日差し・太陽をイメージした町名として提案されたものである。」

(会員H)「総会で話をしたところ、基本的には町名の変更は行わないでほしいという意見が多かった。現在ある町名をまとめて1つの町名に変えることは乱暴ではないだろうかという意見もあり、現状の町区域の範囲を変えず、「中神町」は「中神町」のまま四丁目から六丁目までとし、他の「宮沢町」や「福島町」なども各町ごとに変更する案が挙げられた。」

(大槻会長)「役員会等で話をしたところ、中神熊野神社の氏子もいて、中神という名称は入りたいといった意見が多かった。その他、現在住所が宮沢の人にも会員にいたるため、「宮沢町」や、新畑^{しんばた}という字があるので「新畑」などの意見もあったが、やはり中神を入れてほしいという意見が一番多かった。」

(会員I)「役員会で意見は聞いていない。区域内の1番上が武蔵野一丁目、その下は縦に割る形なのか。」

(事務局)「以前の懇談会で町を縦に分けるか横にわけけるかを議論し、縦に割る意見が多数の同意を得た。」

(会員J)「総会の際に会員全員に諮ったところ、意見がバラバラになってしまったため、今までの町名を入れた方が良いか、全く新しい町名にした方が良いか2つに分けた。結果、新しい町名にした方が良いという意見がほとんどだった。案としては、富士見丘小学校の桜や、あきしまさくらの取り組みを基にした、「さくら町」が挙げられた。もう1つ、以前この地域の名称として検討されていた「仲町」^{なかちょう}を加え、2つ案として提示する。」

(阿部副会長)「役員会では、多数決では中神の名称を含む町名になるの
だろうという意見が多く、平等にやるのであれば全く新しい町名を提案
する方向でまとまった。その中で、今新しく住む町を探している人にとっ
て、斬新な名前で魅力的に見えるという理由から「0系新幹線東町」^{ぜろけいしんかんせんひがしちよう}が
挙げられた。その他、水の杜と書く「水杜」^{みなと}も良いのではないか。」

(会員K)「公募結果を見て、まず歴史や伝統を重視する名称として、「中
神北」や「北中神」という町名を挙げる。次に地域の特徴を活かした名称
として「文化」。道路や公園名に使用されており、地域の特徴を活かすに
は良い。その他としては「神宮」^{じんぐう}が良いと思った。中神と宮沢をくっつけ
て神宮というのは、昭島市の由来にも通じており、昭島らしい名称ではな
いか。」

(会員L)「長くこの地域に住み続けてきており、中神という名称には馴
染みがあるため中神という名称は残していただきたい。昔からどちら(青
梅線以南の中神町なのか青梅線以北の中神町なのか)の中神町と聞かれ
ることが多かったため、わかりやすさを重視して「北中神町」が良いと思
う。」

(会員A)「2つほど提案したい。1つは「中神北」。中神北町だと4文字
になってしまい、長く感じる。北中神もあるが、電話等で初めの北が聞き
取れないと南の中神町と混同してしまう可能性があると考えたため、中
神北が良いと思う。もう1つは、「築地町」。この地域の町名変更が完了す
ると築地町はなくなってしまうため、残した方が良いと思う。東中神駅の
周辺に住んでいる方たちは中神とつく名称がついてよいのか疑問だった
ため、申し上げたい。」

(会員C)「問いかけがあったため、私どもは今回の区割りの中では非常
に少数部分であるため、致し方ないかというなかで、先に挙げた町名案
や、中神にも新町とつけた方が良いのではないかと考え申し上げた次第
である。」

(大槻会長)「以上会員の皆様からひととおりご意見をいただいた。挙げ
られた意見については、なるべく否定せずに集約に向けた話をしていき
たい。」

(事務局)「現在集計を行っており、その間に質疑等あればお受けした

い。」

(会員E)「余談だが、自分が高校生くらいの時に、実家の地番の変更があったが、今でも昔の住所を覚えている。昔の住所は地番の枝番号がかなり多く、エリアが大きくとどり着くのが難しいと郵便局の人が言っていたと聞いたという背景があり、以前割り振りを細かく簡単にした方が良いのではないかという提案をさせていただいた。この話をした理由としては、先ほど中神が消えてしまうのではないかという話があったが、そこに住んでいた人は私のように30年以上経過しても昔の住所は覚えているものだと伝えたかった。」

(会員L)「事務局に質問だが、中神駅周辺にある電柱には、他地域の電柱で見かける住所の表記が中神町と町名までしかない状態となっているが、いずれ書き加えられるのだろうか。」

(事務局)「現在電柱に掲出してある住所としては、市が管理しているものではないため、町名しか掲示されていない理由についてはわかりかねる。ただ、住居表示を実施すれば、その場所の町名と街区を表示するプレートを取り付けるため、近隣住所を視認できるようになる。」

(事務局)「これまでに出了意見をまとめさせていただいたところ、「中神町」、「北中神」、「中神北」、「中神新町」など中神とつく町名が圧倒的に多かった。こからは理由にも多く書いていくようにし、歴史・伝統を重視する意見として、中神を含む町名として載せてよいか。」

(会員同意)

その他、宮沢町という意見が2件あった。歴史・伝統を重視する町名としてこちらも載せてよいか。」

(大槻会長)「いいと思う。」

(事務局)「残りの1件ずつの意見について皆様のご判断をいただきたい。」

(会員E)「最終的な案の決定は審議会で行うため、ここで出了意見は無理に絞らず全て掲載して良いのではないか。その中で、主要な意見は多く載せれば良いと思う。」

(会員K)「私も絞らなくてよいと思う。そのうえで、この意見が多かったというのはコメントであってもよい。」

(他会員)「賛成。」

(事務局)「それでは、みなさんの意見を反映するようにしつつ、見やすくする必要もあると思うので、一度意見を集約・反映した報告書案を事務局で作成させていただき、次回、第6回でお示ししたい。」

(会員G)「報告書案に添付する町名公募実施結果は以前資料として配られたものと同一か。」

(事務局)「現在ホームページで公開している町名公募結果とほぼ同じ内容で添付する予定である。」

(会員G)「町名公募の理由が含まれているため、理由も含めて全て報告していただきたい。」

(事務局)「市民の皆さんの意見となるので、そこはその形で報告させていただく。」

(会員L)「青梅線より北側の住居表示実施済み区域の町名は、美堀町を除いて代官山やもくせいの杜などすべて町が付かない名称だが、今回の地域もそのように町をつけない方向にまとめていく方針が提示されているのか。」

(事務局)「特に市としてそのような方針はない。美堀町は青梅線北側でも町がついている。」

(会員E)「偶然町が付かない名称が続いただけではないだろうか。」

(会員D)「青梅線以南を先に住居表示実施している関係で、北側の区域に元々の町名を付けることができなかった事情があると思う。」

(会員A)「先ほど出した築地町についてだが、私は全域を築地町にするという意見ではなく、築地町が無くなることと富士見丘小学校の東側のエリアを中神としてしまうことへの懸念から、富士見丘小学校の東側だけでも築地町にしたらどうかという提案である。」

(会員D)「土地としては大きく築地町が存在していることは理解しているが、当該地区の方たちの住所は築地町ではなく福島町である。私も築地町が無くなってしまうと残念だという気持ちはあるが、だからといって福島町を築地町に変更することはいかがなものか。」

(会員C)「築地町に変更されることは望んではいない。そういったお話なら福島町が最もいいし、次に富士見町としていただく方が望ましい。ただ、非常に地域が限定的な話になってしまうため、そこは皆さん次第かと思う。」

■議題（２）丁目割り案について（資料２）

事務局より資料２に基づき、報告書案について説明を行った。

【意見・質問及び事務局回答】

（会員Ａ）「今回実施する区域は世帯数や住居数が多いと思うが、今回の案にあるような分け方をすると街区数や住居番号はどのくらいの数字が予想されるのか確認してもらいたい。」

（事務局）「第３回の資料にも掲載したが、街区数は最大で 59 街区が予想される。」

（会員Ａ）「59 という数字は多いのか少ないのか。」

（事務局）「昭島市だと多いが、全国的に見れば特別多いというわけではない。住居表示の目的という点においては、入り組んだ地番を規則的に整理するというところにあるため、59 街区でも順番に並んでいればわかりやすさということではあまり変わらないと認識している。」

（会員Ｅ）「今回の丁目割り案では街区数が多いように思う。住民の意見としてはもう少し街区が少なくなるように分けた方がわかりやすいと思う。ただ、公的な視点で見ればその限りではないのかもしれないので、報告書には意見として入れ、そのうえで、利便性が高いのはどちらか、郵便局など配送業者の方に意見を聞いて、審議会で議論して、実際に住所を使う人が困らないような住居表示にしてほしい。」

（事務局）「審議会で、緊急時の対応も含め、官公署や郵便局の職員から専門的な意見をいただき、しっかりと議論させていただく。また、細かく区切る場合の案として報告書に載せる際、区切る数としてはどのくらいが良いか。」

（会員Ｅ）「そのあたりは実際にシミュレーションしてもらわなければわからないが、6 つくらいにエリアを区切れば街区数は 20 前後で収まるのではないかと思う。」

（会員Ａ）「そのあたりは官公署や郵便局などにヒアリングをして決めたらよいのではないか。」

（事務局）「では報告書にはその旨を載せていく。」

■その他

次回の日程は、事前に文書で案内したとおり令和 8 年 6 月 2 0 日（土）の 1 5 時から（開催場所は追って連絡）となった。